



組織化に適した課題

・たくさんの人が感じている

その課題はどのくらい一般的でしょうか？どのくらいの労働者がその課題に直面しているでしょうか？たくさんの人がこれは大事な問題だ、示されている解決策にも納得がいく、と感じる必要があります。

・強く感じている

その課題は何かしないではいられないという気にさせるほど、人々から深刻に受け止められているでしょうか？多くの人が賛成しているというだけでは十分ではなく、心底腹を立ててなければだめなのです。

・勝てる課題である

必ず勝てることを確信するのは無理だとしても、勝ち得るという根拠ある構想を持つことはできます。いま現在の力量に見合った要求を立てなくてはなりません。

勝つためには、決定権者が「ノー」と言い続けることが困難な状況を作り出し、「イエス」と言わせる必要があります。かける圧力が強いほど、勝利の確率は高まります。

・組合を強化しリーダーを育てる

いまの闘いが今後の闘争力をどう高めていくのかを考えましょう。この課題はまだ運動に参加していないリーダーやグループの関心を引きつけるか？グループ同士の連帯は強まるか？今までよりさらに一步踏み出して行動しようという機運を生み出すか？その解決策は今後の改善に向けた基盤となるか？

一つ一つの闘いは前の闘いの上に築かれるものです。必ずしも願っていたような具体的成果が上がらないで終わることもあります。それでもそこから学ぶことは必ずあり、組織も強くなっているのです。つまり、次は勝てる可能性が高まった、ということです。